



大東北公民館まつり・展示会の案内

掛川市大東北公民館では「コロナ禍でも来館者に元気を与え、地域交流の場として楽しんでもらう公民館にしたい」という思いを込めて「大東北公民館まつり・展示会」を現在開催しています。  
 開催期間は令和3年1月30日(日)～2月7日(日)※月曜休館です。  
 場所:掛川市大東北公民館(掛川市下土方267-1 TEL0537-74-2200)



佐東小学校生の作品



土方幼稚園児の作品



城東中学校生の作品

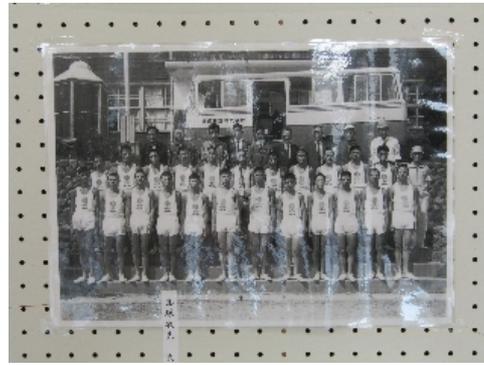


絵手紙講座受講生の作品

地域住民による「作品展示」では、孫や曾孫にあたる保育園児・幼稚園児や小中学生の絵画や書など、また公民館講座受講生の作品や同好会・地域の方々による作品300点以上が展示されています。



1964年東京大会聖火ランナー



当時の聖火ランナーの皆さん



聖火のトーチ



水泳で受賞した銀メダル(青野繁夫氏)



当時の新聞記事



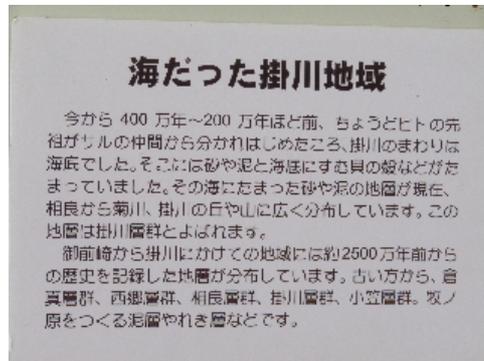
鵜藤俊平氏の新聞記事

「オリンピック特集」では、オリンピックイヤーの幕開けとして、過去のオリンピック、パラリンピックで活躍された地元出身選手で鵜藤俊平氏(高瀬)、青野繁夫氏(入山瀬)の写真や銀メダルなど、また旧大東地区の東京オリンピック聖火ランナーの写真やトーチ、ユニホームなどが展示されています。

当時の新聞記事もたくさん展示されており、地元出身の選手の活躍の様子も紹介されています。



田邊積氏と公民館の富田正昭さん



「海だった掛川地域」の説明



[印象化石](#)



[キラガイダマシ](#)



[モミヅキヒ貝とオオトリ貝の化石](#)



[紋様石\(富士山\)](#)



[紋様石\(ねこ、さぎ\)](#)



[紋様石\(うぐいす\)](#)

「化石おじさん」では化石コレクターの田邊積氏による「掛川大日層の化石(200万年前)」や紋様石の展示がされています。化石は全て田邊氏が掛川大日層で発掘したものです。また紋様石は自然のままの形でとても珍しいものです。

大東北公民館の富田正昭さんが地域住民の交流の場になればとの思いで企画した展示会です。コロナ禍なので例年のように飲食の出店や芸能大会はありませんが、内容がとても充実した展示会になっています。必見の価値ありです。是非ご観覧ください。

(問合せは大東北公民館の富田正昭さんへ TEL0537-74-2200)

取材:小笠・榛南地区担当 生きがい特派員 高井 豊